

2012年 3月31日

釜ヶ崎講座

大阪港郵便局私書箱40号
大阪市西成区萩の茶屋1-9-7
釜ヶ崎日雇労働組合気付
事務局 090-2063-7704

kamakouza@cw02.bai.ne.jp

<http://cwoweb2.bai.ne.jp/kamakouza>

<http://blogs.yahoo.co.jp/kamagasaki Kouza>

郵便振替 00940-1-132778 『釜ヶ崎講座』

大変ご無沙汰しています。会員、読者のみなさんには、ご健勝のこととお察しいたします。いつも釜ヶ崎講座の取り組み、またニュースに心をお寄せいただき、有難うございます。さて、少し遅くなりましたが、最近の取り組みの報告と次回の催しのご案内をさせていただきます

1. 2011～2012年「第42回釜ヶ崎越冬闘争」が闘われる!

去る2011年12月28日より明けて新年1月7日まで、第42回釜ヶ崎越冬闘争が釜ヶ崎三角公園を中心に闘いぬかれました。ますます強まる失業と貧困、強いられる野宿にたちむかって釜の労働者は、今冬も断固として、たたかいに立ちあがりました。福島や宮城、岩手の震災、原発事故にひるまず頑張る仲間と心をつにし、越冬の取り組みは貫徹されました。釜ヶ崎講座も、「越冬実行委員会」に参加し、準備から関わりました。12月30日は「釜講座行動日」を行いました。報告集会、人民パトロール、医療パトロール等の行動を深夜まで仲間と共に、やりぬきました。釜講座は7人の参加での行動となり、この中には遠く長崎県より越冬の取り組みに連帯して来られた人や、釜ヶ崎近隣で働く女性など、多彩な方が参加師ました。また様々な日常活動を担いながら釜の越冬行動に来て、講座のこの日の「一日行動」に参加していただきました。参加してくださった皆さん、大変有難うございました。

2. 2012年「新春釜ヶ崎ツアー」、23名の参加で行われる!

2012年1月3日午後、恒例となっている「新春釜講座ツアー」をおこないました。

今回も永年、釜ヶ崎在住し、釜を知り尽くしている水野阿修羅さんに案内をおねがいしました。今回はかつて「講座講演のつどい」で「釜ヶ崎と教育、こども」のテーマでお話いただいた小柳頭伸さんも参加してください、「教育」を一つの題材としながらの釜ヶ崎歩きでした。かつての「あいりん小学校」の実態や、釜ヶ崎の子供に対する学校教育がまともに確立されていなかった1950年～60年代の児童の話等を、水野さん、小柳さんから聞きながら、旧施設、学校などを歩きました。今回も日雇労働から派生してきた釜の差別、貧困の歴史の学習になりました。

最後は、三角公園隣の緊急避難宿泊所（シェルター）にて担当職員の佐々木さんより、シェルターをめぐるたたかいの歴史や、シェルターを必要としないような労働と生活の確立こそが肝要という話も聞くことができました。今後も充実したツアーとなるために努力していきます。参加された皆さん、本当に有難うございました。又、水野さんには紙上を借りて、あらためてお礼申し上げます。

3. 「第16回釜ヶ崎講座、講演のつどい」－東日本大震災と失業問題－のテーマでひらかれる!

2012年、1月28日、「第16回釜ヶ崎講座講演のつどい」を、東日本大震災と失業を題目にて、釜ヶ崎の「西成市民館」で約40名の参加で開催されました。この「第16回釜ヶ崎講座講演のつどい」では、昨年の3・11東日本大震災がひきおこした甚大な被害の在り様と、それに立ち向かう現地の人々の実態をききながら、生活苦と失業にどう向き合っていくのかの問題を、釜ヶ崎の労働、生活とオーバーラップさせながらの報告と討論の場となりました。

当日は、遠路、宮城現地より薮島さん、川浪さん（地域共生創造財団スタッフ）に講師として来ていただき、石巻、女川等の、とりわけ生活困難な地での「救済・見守り」の活動の話をお聞きしました。女性失業者の増大、人びとの高齢化、地域の過疎化の中での生活への失望と焦燥感の広がり。しかし一方では仕事を求めての新たな仕組みの模索、創造への努力が現地にて始まりつつあることが語られました。

そして、歯科医師である渡邊さん（釜講座代表）の女川地区での医療支援現地報告、同じく釜講座スタッフでNPO釜ヶ崎支援機構として現地派遣された佐々木さんの、宮城での支援活動の報告もあわせ聞きながらの討論となりました。当日、仕事を終えた釜の労働者も質疑、討論に積極的に参加してもらえました。

また、釜日労、山中委員長は釜ヶ崎での反失業のたたかいと反原発の取り組みの強化を訴えました。釜の労働者と市民が一体となって、学習を深めていく講演のつどいとなりました。会員のみなさんをはじめ、当日の参加の方々、大変有難うございました。

4. 「第17回釜ヶ崎講座・講演のつどい」、来る4月21日（土）にやります! 福島原発事故とは何か（原発と下請け被曝労働を考える）のテーマで。

「第16回講演のつどい」で釜ヶ崎と東日本大震災と失業問題を取りあげましたが、この議論の中でも原子力発電所内での労働問題が問題になりました。日本の資本主義と経済の「繁栄」の陰で、原発内での重労働は下請けの労働者が担ってきました。釜ヶ崎の労働者も、以前より多数、原発内での労働についていると言われてきました。今度の「釜ヶ崎講座・講演のつどい」では、東日本大震災のもうひとつの大きな課題、「福島原発事故とは何だった」かを、一度、基本的なところで学習し、自らが被曝し、「下請け被曝労働」につく可能性もあることを考えていこうと思います。反原発の市民運動を永らく精力的に行っておられる「はんげんばつ新聞」編集委員の末田さんのお話をうかがいます。ともに原発問題を考えていきませんか。ご参加をお願いいたします。

日時 2012年4月21日（土） 午後6時30分開演
講師 末田一秀さん（はんげんばつ新聞編集委員）
会場 太子福祉館 大阪市西成区太子1丁目4-3 太子中央ビル3階（1階は100円ショップ FLET'S）
（地下鉄御堂筋・堺筋線「動物園前」駅7号出口、JR環状線「新今宮」駅下車、5分）
資料代 500円

5. 3・11反原発万人集会に参加しました

3月11日、中之島周辺3ヶ所で開かれた、反原発1万人集会の中之島公演女神像前集会に、参加しました。釜日労・釜ヶ崎反失連の仲間と反原発を訴え、ナンバまでデモを行いました。

6. 会費、カンパのお願い

会費（年1000円）、カンパをおねがいします。会員、読者のみなさん、よろしくお願ひいたします。

<振込先> 郵便振替 00940-1-132778 口座名義 『釜ヶ崎講座』